

平成29年11月24日

うるま市長
島袋俊夫様

うるま市行政改革推進委員会
(補助金審査委員会)
会長 佐藤学

平成29年度うるま市補助金等に関する審査結果について

この度、うるま市行政改革推進委員会規則第2条第3項及びうるま市補助金制度に関する指針に基づき、うるま市が行う補助金等について審査を行ったところでありますが、審査委員会としての提言を別紙「平成29年度うるま市の補助金等に関する審査結果について」のとおり取りまとめましたのでここに報告いたします。

平成29年度

うるま市の補助金等に関する審査結果について

平成29年10月

うるま市補助金審査委員会

目 次

第 1	審査の対象と方法	1
	審査の対象	
	審査方法	
第 2	審査結果概要	2
	総括	
	総合評価内訳	
第 3	個別審査結果	4
◇	付属資料	9

第 1 審査の対象と方法

1 審査の対象

すべての部署の補助金等を対象に、事務局が調製したリストの中から委員会で最終選定を行い、10件の補助金等を対象に審査した。

2 審査方法

審査結果を平成30年度の予算編成に反映させるため、10月までに審査を終えることにした。

審査は個別の補助金等について、事前に事務事業評価票（補助金交付型）、事業報告書、決算書等の資料の提出を求め、担当部署ごとにヒアリングを実施し以下の要領で行った。

- (1) 「うるま市補助金制度に関する指針」に定める「交付基準」を踏まえ評価を行い、「見直し基準」により方向性を判断する。
- (2) 審査対象補助金を1会議あたり、3～4件を目途に審査する。
- (3) 審査では、補助金審査票（事務事業評価票・補助金交付型）及び関連資料を基に担当課ヒアリングを実施する。ヒアリングは、うるま市補助金制度に関する指針に示した補助金交付基準（1. 事業の公共性、2. 事業の効果性（有効性・効率性・適時性）、3. 団体等の適格性など）に基づき、市民の視点から補助の必要性、額の妥当性等を検証する。
- (4) 上記審査に基づき、委員会としての総合評価（A：更に充実させる方向で見直し、B：現状のまま継続、C：効率化・コスト削減の方向で見直し、D：縮小・廃止を前提とした見直し）を決定し、その理由や意見、見直しの方向性等を取りまとめる。

第2 審査結果概要

1 総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

うるま市における補助金等のあり方について、市民目線で審査を行うために当委員会が設置され、今回で11回目の審査となった。市民の立場から補助金等を確認していくことは行政改革として大変重要なことであり、補助金等が設定された趣旨や、時代の流れの中で本当に相応しいのか、常に検証していく必要がある。

今回、委員会で選定した10件の補助金について、担当課の事務事業評価票を基にヒアリングを行い、「うるま市補助金制度に関する指針（平成29年3月改訂）」に基づいて「本当に必要な補助金か」「額は妥当か」「運営上の課題はないか」等の視点から審査を行った。審査の結果として、まず始めに総括的な指摘事項として以下のとおり提言する。

(1) 補助金交付要綱の整備について

今回審査した中に交付要綱が定められていない補助金があった。

交付要綱は補助目的や補助金額の根拠となるもので、透明性確保の観点から必要であるとする。要綱未制定の補助金に関しては、早急に制定していただきたい。

(2) 担当課の補助金内容の把握について

今回審査した補助金において、担当課が補助金交付の内容の把握が足りていないと思われるものがあった。

補助を行っている団体がなぜ選定されたのか不明なまま、補助金を交付している。補助金交付先が、毎年特定の団体にならないよう、広く周知を図る等の工夫が必要である。

他の補助金についても所管する担当課は、補助金の目的・意義・経緯についてしっかりと把握した上で交付を行っていただきたい

(3) 補助金審査フォローアップ調査について

29年度の補助金審査と並行して、28年度補助金審査においてC評価・D評価と判定された補助金について、その後の取り組み状況を確認するためのフォローアップ調査を実施した。

フォローアップ調査対象となった6件の補助金のうち、「市社会福祉協議会運営補助金」「うるま市シルバー人材センター運営補助金」「中部地区老人クラブ連合会負

担金」の3件の補助金については、担当課が示した対処方針に基づく改善が見られた。しかし残りの「中部北環境施設組合負担金」「うるま市観光物産協会補助金」「駐留軍離職者センター助成金」に関しては、具体的な取り組み内容が乏しく、改善が行われているとは言い難い。

審査委員会からの意見を踏まえて、真摯に対応されることを望む。

(4) まとめ

今回の審査において、交付基準となる要綱の重要性を再認識した。

交付要綱が未制定の補助金は、補助の妥当性・交付根拠について適切であるか判断できなかった。今回指摘を受けた補助金だけでなく他の補助金についても、今一度、交付要綱が制定されているか確認していただきたい。

また、交付要綱が制定されているが長年改正が行われていないものに関しても、現在の社会情勢や市民ニーズを反映した内容になっているか等、常に見直しを行っていただきたい。

今年度から取り組んでいる補助金審査フォローアップ調査についても述べたい。

前年度までは審査を行った後の状況を確認するために、再度審査対象として選定していた。その結果、同じ補助金を審査することが多く、審査対象が偏る一因となっていた。また、評価結果をサイクルの中で活用するために、本審査委員会の審査結果が担当課にどのように受け止められ、対応されたかを、フォローアップ調査で返して頂くやり取りが重要な機能を果たすと期待する。

フォローアップ調査で前年度C評価・D評価の取り組み状況を把握することにより、多種多様な補助金審査業務の効率化と、補助金の透明性・説明責任の確保へ繋がると考える。次年度以降もフォローアップ調査を継続していきたい。

2 総合評価内訳

- A：更に充実させる方向で見直し・・・・・・・・・・ 0件
- B：現状のまま継続・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件
- C：効率化・コスト削減の方向で見直し・・・・・・ 6件
- D：縮小・廃止を前提とした見直し（ただし縮小廃止を前提とした評価ではなく、根本的見直しを求めるという評価）・・・・・・ 1件

第3 個別審査結果

うるま市商工会補助金（商工観光課）

「うるま市商工会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

担当課は活動指標の内容を把握できていない。商工会の事業内容等もしっかりと掌握しておくべきである。

会員数の増加が見られる中で、資金造成や会費の増額など、商工会自身で自主財源確保の努力を行い、補助金を減らしていくべきではないか。

いつまでも補助金に頼るのではなく終期設定を行い、長期的な視点の下、例えばうるま市中小企業基本条例の趣旨に沿って行政と商工会が連携を図る等、実効性のある取り組みをしていただきたい。

うるま市観光物産協会補助金（商工観光課）

「うるま市観光物産協会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

うるま市の素通り観光の現状を変えていくために、観光資源を生かすことや宿泊業者と連携を図る等、観光物産協会がやるべきことはたくさんある。また、地域・自治会とより連携を図り、物産に目を向けることも必要ではないか。

『うるま感動体験』のような新しい商品展開は評価したい。今後はSNS等を使った発信力を強化していくことが重要であると考えます。

目標指標については、観光物産協会の会員数ではなく、『うるま感動体験』の参加者数のような数値が達成度を測りやすいと思われる。指標の変更を検討していただきたい。

第2次うるま市観光振興ビジョンを観光物産協会と共有化し、うるま市観光の戦略作りについてしっかりと連携していただきたい。

青少年健全育成協議会補助金（青少年センター）

「青少年健全育成協議会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「B」：現状のまま継続

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

補助金交付要綱が制定されておらず、基準が曖昧なまま補助金が交付されている。要綱を制定し、早急に改善を行っていただきたい。

協議会が行っている『ありがとうの手紙』や『少年の主張大会』等の取り組みに関しては、青少年の健全育成に資するものであり高く評価したい。

取り組みが全くなされていない学校に対する参加の促しや、発表会をより多くの市民が聞けるよう、会場設定の工夫もしていただきたい。

うるま市社会福祉協議会運営補助金（福祉総務課）

「うるま市社会福祉協議会運営補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

毎年 C 評価が出ているが、担当課の指導で人件費削減を行う等、前年度からの改善が見られ、評価できる。引き続きコスト削減を進めて頂きたい。

担当課の評価においても、社会福祉協議会自身で内部事務・実施事業の分析がされておらず、適正な業務の見直しに繋がっていない。これは事業を実施する上で根本的な問題である。事務の見直し・効率化を行い、外部に対してきちんと改善結果を説明できるよう、担当課は社会福祉協議会へ引き続き指導していただきたい。

民生委員児童委員協議会補助金（福祉総務課）

「民生委員児童委員協議会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

民生委員・児童委員の重要性、充足率の課題解消のための活動等、協議会の果たしている役割については十分理解できる。

しかし、交付根拠となる要綱がないため、補助金交付の妥当性の検証が行えない状態である。

担当課は繰越金の取り扱いを含め、市として協議会との関わり方を明確化し、早急に交付要綱を整備していただきたい。

学力向上支援事業補助金（指導課）

「学力向上支援事業補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「B」：現状のまま継続

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

当該補助金は沖縄県地域振興協会助成金を活用した事業ということで、B 評価が妥当であると判断した。

活動指標として学力指導員の配置数を設定しているが、助成対象学校内の配置の仕方で指導員配置数が大きく変わるため、活動結果の示し方として疑問がある。また、目標達成度に関しては、毎年度市内から3校を選定し補助していることから達成度の数値設定が困難である、とのことであったが、複数の目標を設定し複合的に表現する等、工夫の余地があると考えます。

活動実績・達成度を正しく測ることができる指標を検討していただきたい。

学力向上対策委員会補助金（指導課）

「学力向上対策委員会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「B」：現状のまま継続

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

小中学校の学力は向上しており、小学校においては、全国平均に近づき、一部教科では全国平均を上回る等、成果が出ていることは高く評価したい。しかし、中学校の学力は依然として全国平均と開きがあり課題となっている。中学生の学力向上のためには、学校での取り組みだけでなく、生活状況の問題点等を市としてどう関わっていくか、という視点が必要ではないか。

活動を示す指標に関して、教職員の授業力向上の為に開催しているスキルアップ学習会の開催数も設定したほうが、より具体的に活動実態を把握できると考える。

小学校中学校ともに成果が上がって来ているので、現在の取り組みを継続していただきたい。

各種団体育成費補助金（生涯スポーツ課）

「各種団体育成費補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

担当課が現在補助を行っている団体の選定経緯の把握が行われていない。他に補助を必要としている団体が無いか、というニーズの把握もない。既存団体のみに補助するのではなく、広く周知し補助を必要としている団体の掘り起こしが必要であると考えます。

市として主体的に社会教育団体を育成していくという姿勢で、補助対象団体（既存団体が補助に至った過去の経緯を含め）の情報をしっかりと把握し、効率的な補助金交付に努めていただきたい。

次年度以降、しっかりと改善されているか、委員会として注視していきたい。

子ども会育成連絡協議会補助金（生涯学習振興課）

「子ども会育成連絡協議会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「D」：縮小・廃止を前提とした見直し（ただし縮小廃止を前提とした評価ではなく、根本的な見直しを求めるといった評価）

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

子ども会が担ってきた役割が時代とともに変化しつつあるが、学校・地域との連携を含め、現代にあった子ども会の形を模索している状況だと考える。

しかしながら45団体中9団体の加盟に留まっている現状から、未加入の子ども会が必要としていることを把握した上で、事業内容の見直しを検討する必要があるのではないかと。

子ども会の重要性・可能性を考え、補助金の縮小廃止を前提とした評価ではなく、学校・地域とより連携を図り、協議会の事業内容を含めて根本的な見直しを行っていただきたい、という意味のD評価とした。

担当課は問題意識を持って改善に取り組んでいる。現在加盟していない子ども会が何を必要としているかを把握した上で、課題解決に向けて引き続き努力していただきたい。

悪臭緩和剤等購入補助金（農政課）

「悪臭緩和剤等購入補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

畜産業の悪臭緩和に補助金が必要であることは理解できる。

しかし、緩和剤使用前後の効果検証が十分に行われていない。臭気を数値化し、客観的に効果が分かるようにするべきである。

また地域毎（具志川・石川・与勝）の緩和剤使用状況（率）や効果についても検証し、効率的な運用を行っていただきたい。

◇付属資料

平成29年度 うるま市補助金審査委員会審査経過

日 程	事 項	内 容
4月27日(木)	補助金審査事前検討会	29年度補助金審査方針の確認
6月22日(木)	第1回補助金審査委員会	審査対象補助金の選定
8月23日(水)	第2回補助金審査委員会	個別補助金について審査【3件】
8月29日(火)	第3回補助金審査委員会	個別補助金について審査【4件】
9月21日(木)	第4回補助金審査委員会	個別補助金について審査【3件】
10月12日(木)	第5回補助金審査委員会	補助金審査意見の確認【10件】 フォローアップ調査の確認【6件】
11月24日(金)	平成29年度補助金等に関する 審査結果について	補助金審査結果を市長へ報告

うるま市補助金審査委員会委員名簿

	区分	氏名	役割等
1	委員長	さとう まなぶ 佐藤 学	学識経験者
2	副委員長	ふくはら とおる 福原 徹	公募委員
3	委員	とぐち ひろゆき 渡久地 博之	公募委員
4	委員	いけはら こと 池原 トモ子	公募委員
5	委員	たまえ あきひろ 玉栄 章宏	公募委員
6	委員	しんじょう もとき 新城 基樹	公募委員
7	委員	たかえす やすよし 高江洲 康愛	公募委員
8	委員	まきじょう つかさ 牧 門 司	公募委員
9	委員	はまばた よしまさ 濱端 義正	公募委員
10	委員	かやわり すすむ 栢割 進	公募委員
11	委員	まちだ そうこう 町田 宗康	公募委員